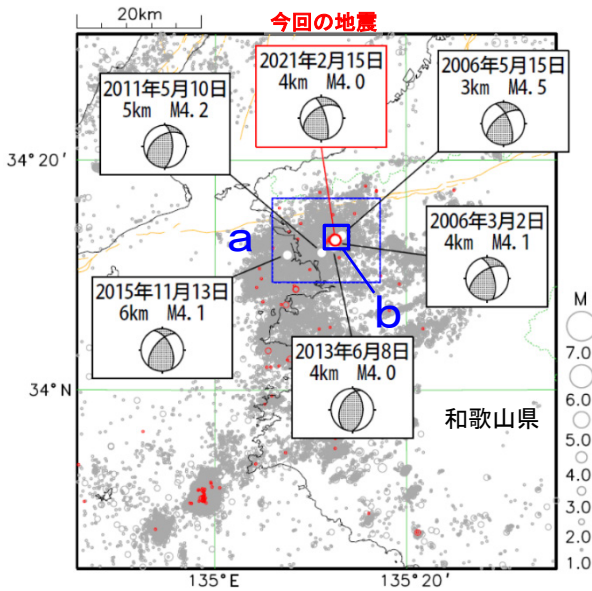


2月15日 和歌山県北部の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2021年2月28日、
 深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)
 2021年2月の地震を赤色で表示
 橙色の線は地震調査研究推進本部の
 長期評価による活断層を示す)

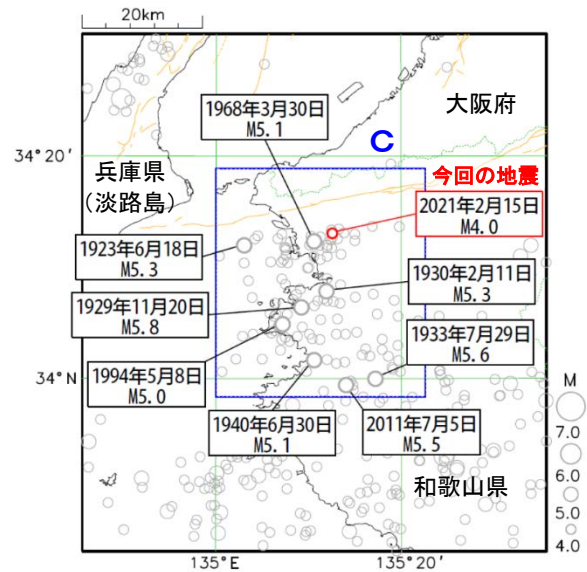


2021年2月15日13時28分に和歌山県北部の深さ4kmでM4.0の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。今回の震源とほぼ同じ場所（領域b）では15日以降地震活動が活発となり、22日11時57分にはM3.3の地震（最大震度3）が発生するなど、震度1以上を観測する地震が25回（28日24時現在）発生したが、活動は次第に減衰しつつある。

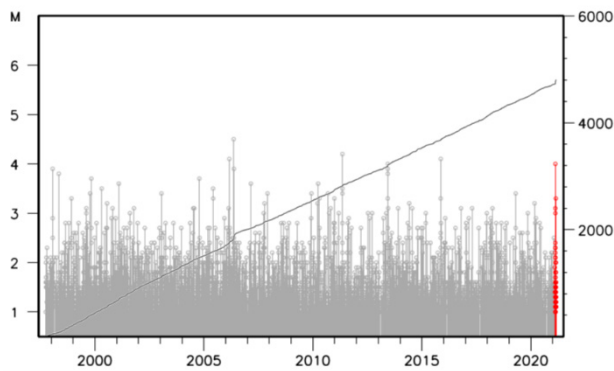
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、定常的な地震活動があり、M4.0程度の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、2011年7月5日にM5.5の地震が発生し、住家一部破損 21 棟などの被害（総務省消防庁による）が生じるなどM5.0を超える地震が時々発生しているが、M6.0を超える地震は発生していない。

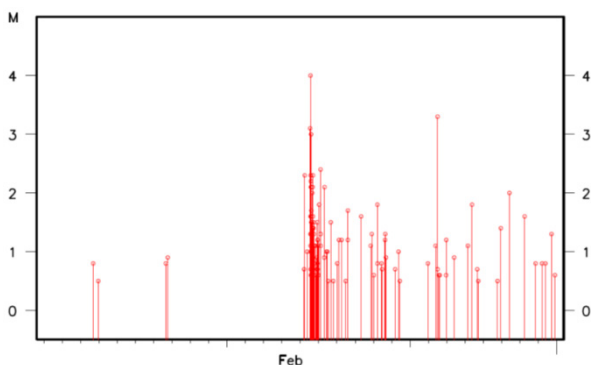
震央分布図
 (1919年1月1日～2021年2月28日、
 深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)
 2021年2月の地震を赤色で表示
 橙色の線は地震調査研究推進本部の
 長期評価による活断層を示す)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図
 (2021年2月1日～28日、 $M \geq 0.5$)



領域 c 内の M-T 図

